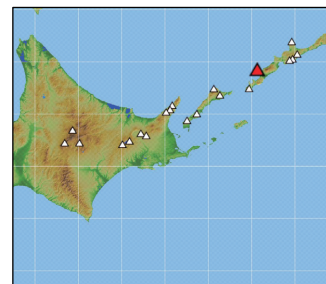


105. 択捉阿登佐岳 Etorofu- Atosanupuri (択捉島)

北緯 44° 48' 27" 東経 147° 07' 51" 標高 1,206m (独自に計測)



左が択捉阿登佐岳, 右が西単冠山
南西側の国後島(爺爺岳外輪山)から 1999年8月3日 石塚吉浩撮影

概要

安山岩、玄武岩(SiO₂量は50.5～53.3 wt.%)の成層火山。別名、阿登佐登、Atsonupuri。

地勢図

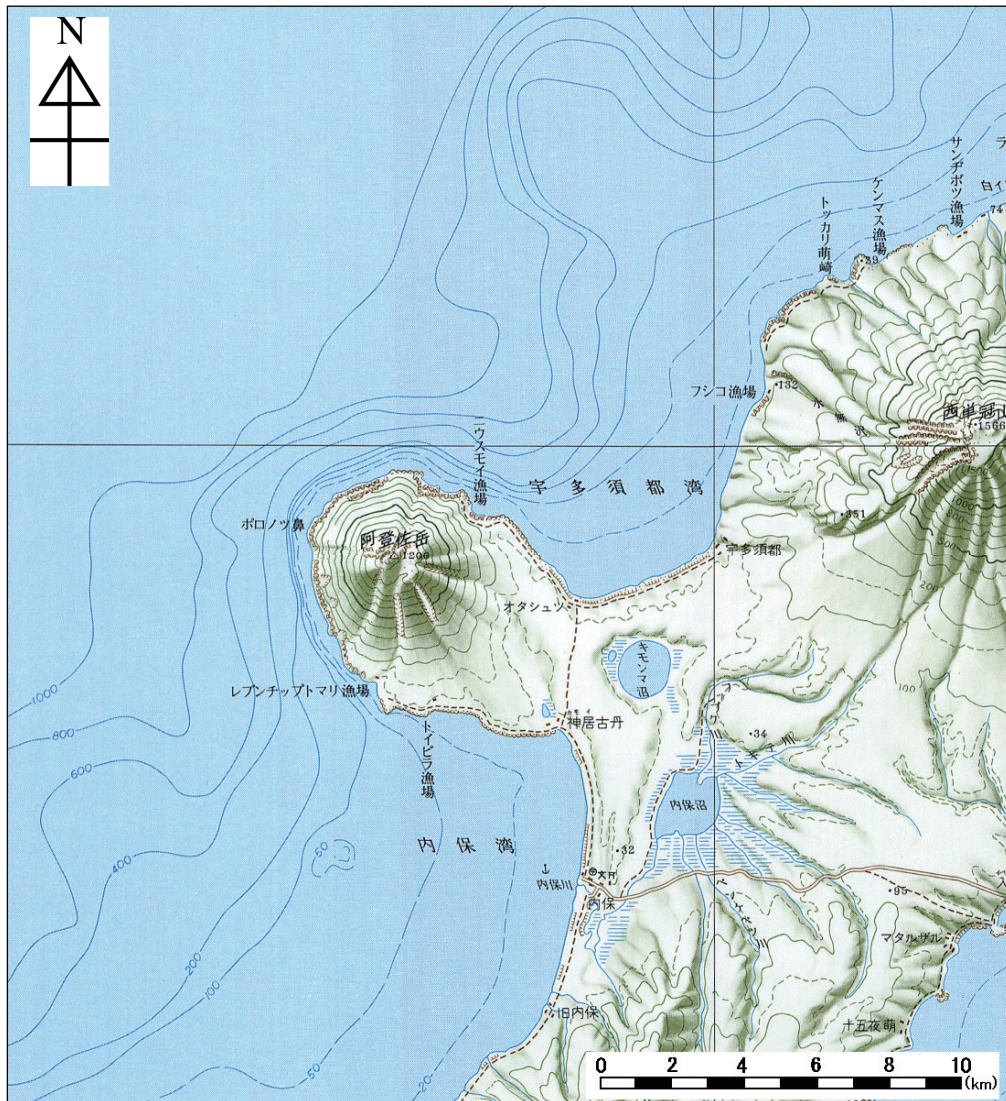


図 105-1 択捉阿登佐岳の地勢
国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(紗那)

噴火活動史

・有史以降の火山活動(▲は噴火年を示す)

年代	現象	活動経過・被害状況等
▲1812(文化 9)年	噴火	9 月に噴火
▲1932(昭和 7)年	噴火？	

近年の地震活動

茂世路岳 地震活動を参照。

関連する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
気象庁地震火山部火山課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
札幌火山監視・情報センター	(札幌管区気象台)札幌市中央区北 2 条西 18 丁目 2	011-611-2421
釧路地方気象台	釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 9 階	0154-31-5145

引用文献

Gorshkov, G. S. (1970) Volcanism and the upper mantle: investigations in the Kurile Island Arc. Plenum Press New York-London, 385.